



イヌガエル 繁殖成功だワン

サイン

年 組 () 名前



◆ ^{み え けん すいぞくかん}三重県の水族館で、^{こえ}かわったなき声のカエルが生まれたようです。

イヌガエル 繁殖成功だワン

鳥羽水族館 国内で初

鳥羽水族館(三重県鳥羽市)は16日、犬のように「ワン」と鳴くイヌガエル
Ⅱ写真、同水族館提供Ⅱの繁殖に、国内で初めて成功したと発表した。

イヌガエルはアカガエルの仲間で、成体の体長は約8^{センチ}。中国南部と台湾からベトナム中部にかけて、里山や山間部のため池などに生息する。

同館は2013年からイヌガエルの飼育展示を始め、19年に台湾の専門家から譲渡されたカエルを繁殖させた。7月18日、バックヤードの水槽で産卵を確認。約40匹のオタマジャクシに脚が生え、2〜3^{センチ}の子ガエルとなって元気に育っているという。

読売新聞オンラインに動画



※ ^{せんせい}先生やおうちの ^{ひと}人と
いっしょに読みましょう。
(2020年10月17日 読売新聞朝刊より)

【1】このカエルはなぜ
「イヌガエル」と呼ばれているのですか。

となくから。

【2】イヌガエルはどのように ^{せいちょう}成長しましたか。記事をもとに ^{きじ}姿を ^{すがた}書きましよう。
(7月ごろ) (約40匹の) (2〜3センチの)

たまご



【3】あなたのまわりや本で見たことのあるカエルを裏にかきましよう。



年 組 () 名前

サイン



たくさんの品数が並ぶ食卓。食べ残し禁止令で、食事風景が変わるかもしれない(中国・北京で)

◆ 中国で食べ残しを禁止する指示が出されました。あなたは、学校給食や家庭での食事を残さず食べていますか。

【1】中国では、お客さんが来ると、なぜ食べきれないほどの料理でもてなすのですか。

【2】中国で食べ残しを禁止する指示が出された理由を書きましょう。

【発展問題】あなたは食べ残しをしたことがありますか。「ある」人は食べ残しをなくすにはどのようにしたらいいかを、「ない」人は食べ残しをしないように気をつけていることを、それぞれ裏に書きましょう。



中国「食べ残しダメ」

中国の習近平国家主席が8月、食べ残しを禁止する指示を出しました。

中国ではお客さんが来ると、食べきれないほどの料理を用意してもてなします。料理が残っていることはもったいないことではなく、お客さんが満足した証しとみなされてきました。

ところが、今年の中国は、大量のバツタに農作物を食べられたり、大雨被害に見舞われたりと、たくさんの畑が被害を受けました。昨年の中国の食料自給率(時事ワード6)で米、小麦、トウモロコシは98%以上。ほとんどを国内でまかなっているのに、食べ物足りなくなってしまうのではないかと、習さんは心配しているのです。

中国のある調査によると、食べ残しによるムダは年間1800万トンのぼり、5000万人分の1年間の食料に相当するそうです。

(2020年8月27日 読売KODOMO新聞より)



年 組 () 名前

サイン



イラスト・坂川リえ

台風や地震といった災害のたびに問題となるのが「災害ごみ」です。ごみがある、被災地の復興がうまく進まないから。少しでも早くごみを片付ける力が必要として、「分別」が注目されています。

災害ごみ 分別で片付く



◆ 台風などの災害で問題になる「災害ごみ」。被災地の復興を進めるためにも、「ごみを早く片付ける」「分別」が注目されています。

地震で倒れた家電道具、水につかった家電製品：災害では、いつもの何倍ものごみが出ます。洪水や津波では、川や海の土砂が家の中まで流れ込み、家そのものも「ごみ」となります。こうしたごみを早く片付けることが、復興への近道になります。

手間減って復興早まる

熊本「ゴミ運ぶ車も」分別
熊本県では、2016年の熊本地震（一時フィールド6）で災害ごみの分別ができず、仮置き場がいっぱいになり、ごみの受け入れを一時中断しました。その教訓から、今年7月に起きた豪雨被害では、徹底して災害ごみを分別するようになりました。中でも人吉市は、仮置き場に「ごみを運ぶ車も「分別」しました。1台の車が何種類もごみを、一緒に持っていく、荷降ろしに時間がかかり、仮置き場につながる道路も渋滞し、スムーズにごみを処理できなくなるからです。人吉市は、「ごみを1種類だけ積んだ車を優先して仮置き場に通したところ、次第に1種類のごみだけを持つてくる人が増え、仮置き場の待ち時間が減ったそうです。自宅が床上浸水した窪田剛さん（57）は「妻と2人で片付けをしていたので、すぐに捨てられたのは助かった」と話していました。

今回の豪雨で人吉市内では、家の片付けだけで市内で1年間に相当するごみの3倍のごみが出ました。でも、分別の徹底によって、災害の3か月後にほぼ処理できました。

た「仮置き場」にいったん集められた後、焼却場や埋め立て地に運ばれます。ただ、分別されていないごみをそのまま運ぶことはできません。どこかでごみを分別しなければならず、その分、手間と時間がかかってしまうこととなります。

【2】分別されていない災害ごみ運ばれてくると、なぜ困るのですか。理由を記事から見つけて書きましょう。

【3】住みやすいまちにするには、普段からごみを減らすことが大切です。自分が工夫していることを裏に書きましょう。



(2020年10月22日 読売KODOMO新聞より)

©The Yomiuri Shimbun



草ストローを輸入販売する大久保夏斗さん（相模原市中央区で）

レビロニアを収穫するベトナムの農家（大久保夏斗さん提供）



草そのまま ストローに

相模原の学生 販売

草ストローは、ベトナムで栽培されるカヤツリグサ科の植物「レビロニア」の茎（約2尺）を長さ13寸と20寸の2種類に切りそろえたもの。レビロニアは元々

相模原市中央区在住の東京農業大学2年、大久保夏斗さん(20)が今年、植物の茎をそのまま使う「草ストロー」をベトナムから輸入販売する会社を設立した。天然素材で環境に優しいと評判を呼び、取引先は全国の飲食店など約80店舗に広がっている。将来的には使い終わった草ストローを回収して肥料や飼料にするサイクルもつくりたい」と夢は膨らむ。
(中谷和義)

カバンなどを編む材料として使われており、世界的にプラスチック削減が叫ばれる中、茎が空洞で直径が4〜7ミリ、においもほとんどないなどストローに適した性質に着目した地元の人々が製品化した。

大久保さんは小学生の頃から昆虫検定を受けたり、ゴーヤを育てて窓を覆う緑のカーテンにしたりと自然が好きだった。環境問題を特に意識するようになったのは高校時代。ウミガメの鼻の穴に刺さったプラスチック製のストローをペンチで引き抜く動画をSNSで見たのをきっかけに「自分でも何かやれないか」と考え始めた。

東京農大の国際農業開発学科に進学して間もない昨年6月、レビロニア製ストローの存在を、バックパックスで世界各地を回っていた兄、迅太さん(22)から教わり、「これだ」と思った。近年、プラスチックに代わるストロー材料としては紙や麦わらなどが使われる。レビロニアはふやけやすい紙よりも耐久性に優れ、4回ほど使える。1本あたりの販売価格は約7円

と、プラスチック製（約0・7円）の10倍近いが、麦わら製（約10円）よりは安くできる。大久保さんは迅太さん、ベトナム人の知人と3人で5月に資本金10万円の合同会社「HAYAMI」を設立し、代表となった。

コロナ禍に苦しみ飲食業界が主な営業対象となり、思うような活動はできないが、それでも電話やメールで働きかけ、自然派レストランなどから徐々に注文が入るようになった。キャンセルが頻りに戻れば学食にも声をかけるつもりで、「学生が環境に関心を持つきっかけにもしたい」と期待する。

◆ベトナムで栽培されている植物の草をそのままストローにする輸入販売会社を大学生が設立しました。

(2020年9月11日 読売新聞横浜版より)

【1】ストローに使う草の名前は何か。

【2】この草ストロー1本をくり返して4回使うと、使用1回あたりの値段はいくらになりますか。

約 円

【3】プラスチックに代わるストローの材料としては、ほかにどのようなものがあるか、書きましょう。

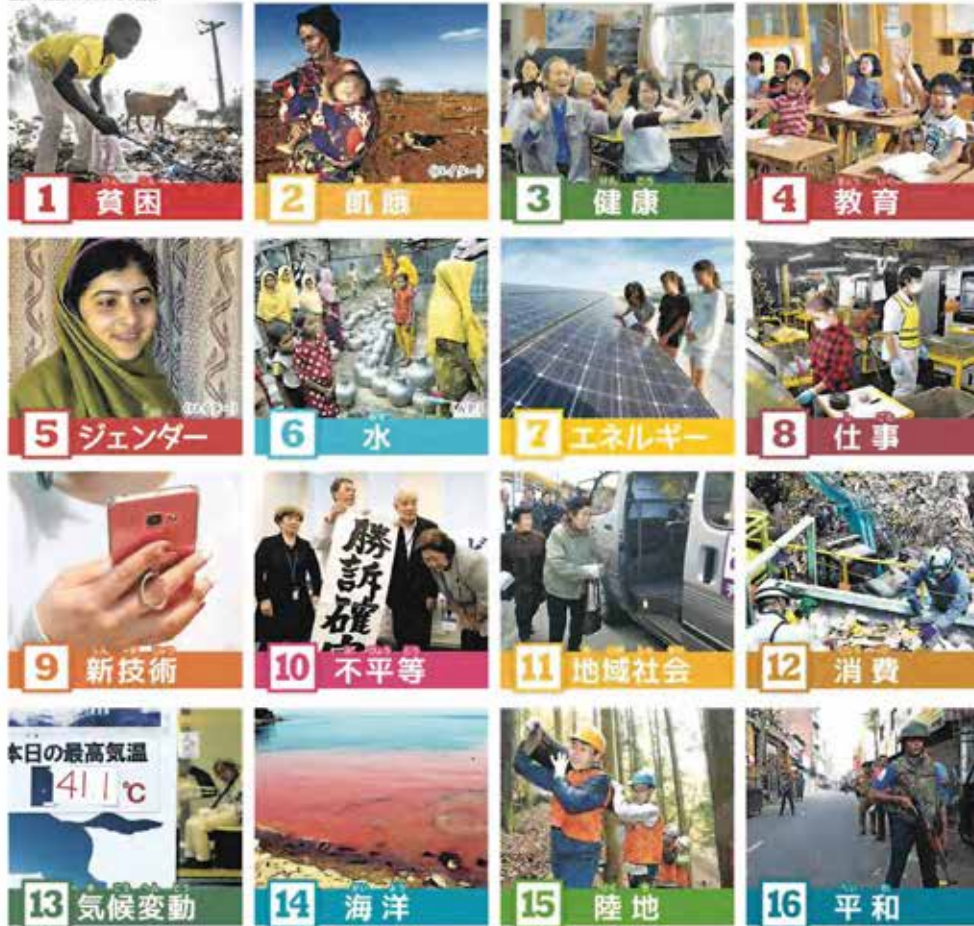


【発展問題】プラスチックのストローとともに飲食店で出されるのが、ガムシロップやコーヒーマイルクです。プラスチック容器に入っていることが多いですが、この使用を控えるにはどのようにすればいいでしょうか。みんなで考え、裏に書きましょう。



世界 17 の宿題を学ぼう

© UNICEF/UNDP/WHO/World Bank Photo Library



「このすばらしい旅の始まりに僕たちは誓うよ。誰ひとり取り残しはしないと」

2015年、こんな宣言とともに、人類の「旅」は始まりました。2030年までに達成すべき世界の17の「宿題」を設定した「SDGs (持続可能な開発目標)」が

国連で決められたのです。たとえばおいしいチョコを食べると幸せな気分になれます。でもそのチョコは、遠くの国の力才畑で子どもが無理やり働かされてきたものかもしれません。

じゃあチョコを食べなければいいのでしょうか。がまん

するだけでは、だれも幸せにはなりません。どうすれば誰も取り残さず幸せになるかを考える、それが私たちの「旅」なのです。

読売KODOMO新聞 (2019年7月25日) を一部加工



読売中高生新聞に、SDGsにまつわるコーナーが登場しました。その名も「読売中高生SDGs新聞」。毎月3週目に掲載し、全国の中学、高校の活動を紹介していきます。

SDGsは、かけがえのない地球を維持していくため、2030年までに達成すべきだと国連が定めた目標のこと。「貧困をなくそう」「海の豊かさを守ろう」など17の目標が挙げられています。

どれも地球規模の課題ですが、「自

分たちにもできることはある」と考え、地道に取り組む中高生が増えていきます。そんな中高生を応援しようと4月にスタートしたのが「SDGs新聞」です。

取り上げてほしい学校は、中高生新聞編集室 (chukousei@yomiuri.com) に連絡してください。



読売新聞社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。